

相続手続きのご依頼者から、『佐藤けんたろう』がいただいたお手紙

「思い出す度に涙が出ます。うれし涙をありがとうございました。」

佐久間 君子さま（仮名） 50代・女性・会社員

「季節通信」お送り下さりありがとうございました。
早速読ませていただきまして、なぜか温かい気持ちになりました。
数年前より仲間内でエンディングノートが話題になり夫にも伝えましたが関心がなくそのままになりました。その後夫の病気、看護と続き遺言書も無理でした。
今回遺言があるとなしでは手続きがどんなに違うか、そして相続手続きの負担が軽くなるし助かるものだと思感しました。

思い出すのは佐藤さんの一言です。書面記入時に

「私は何度住所、氏名、死亡日を書いて来たのだろう、早く終らせたい。」

緊張と不安の中あせて居りました。

「字がきれいですね。」

心がゆるくなり、うれしくなりました。人に誉められていなかったなあ しばらく…
その後は相続には関係ない話をしてしまいましたが、気持ちよく耳を傾けて下さいました。
後日思い出す度に涙が出ます。うれし涙をありがとうございました。

これから「季節通信」を楽しみにしつつ、大切に保存し、色々参考にさせていただきます。

▼頂いたお手紙の原本

「季節通信」お送り下さりありがとうございます。
早速読ませていただきまして、なぜか温かい気持ちになりました。
数年前より仲間内でエンディングノートが話題になり夫にも伝えましたが関心がなくそのままになりました。その後夫の病気、看護と続き遺言書も無理でした。
今回遺言があるとなしでは手続きがどんなに違うか、そして相続手続きの負担が軽くなるし助かるものだと思感しました。
思い出すのは佐藤さんの一言です。書面記入時に「私は何度住所、氏名、死亡日を書いて来たのだろう、早く終らせたい。」緊張と不安の中あせて居りました。「字がきれいですね。」心がゆるくなり、うれしくなりました。人に誉められていなかったなあ しばらく…
その後は相続には関係ない話をしてしまいましたが、気持ちよく耳を傾けて下さいました。後日思い出す度に涙が出ます。うれし涙をありがとうございました。
これからの「季節通信」を楽しみにしつつ、大切に保存し、色々参考にさせていただきます。